



2025年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社ベイカレント (旧社名：株式会社ベイカレント・コンサルティング) 上場取引所 東
 コード番号 6532 URL https://www.baycurrent.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 義之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 中村 公亮 TEL 03 (5544) 9331
 兼 管理本部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%								
2025年2月期第3四半期	83,525	23.3	29,418	17.8	28,747	18.8	28,688	18.8	21,200	20.5	21,200	20.5	21,200	20.5
2024年2月期第3四半期	67,717	23.3	24,977	17.9	24,194	15.8	24,153	15.7	17,596	18.7	17,596	18.7	17,596	18.7

(注) EBITDAの定義及び計算方法は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(参考情報)」をご覧ください。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	139.31	—
2024年2月期第3四半期	115.09	—

(注) 当社は、2025年2月期第3四半期連結会計期間より要約四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期第3四半期連結累計期間に代えて、2024年2月期第3四半期累計期間について記載しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	111,721	84,648	84,648	75.8
2024年2月期	99,883	74,127	74,127	74.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	18.00	—	25.00	43.00
2025年2月期	—	25.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	115,000	22.5	42,000	18.9	41,100	20.1	41,000	20.0	30,300	19.4	30,300	19.4	199.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2024年9月1日より持株会社体制に移行したことに伴い、2025年2月期第3四半期連結会計期間より要約四半期連結財務諸表を作成しております。なお、事業構成において前事業年度との実質的な変更はないため、連結業績予想の対前期増減率については、前事業年度と比較した参考前期比を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社(社名) 株式会社ベイカレント・コンサルティング、除外 1社(社名)
株式会社ベイカレント・テクノロジー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期3Q	155,411,410株	2024年2月期	155,411,410株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	3,353,089株	2024年2月期	2,627,964株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期3Q	152,182,323株	2024年2月期3Q	152,881,386株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは当第3四半期連結会計期間より、連結決算に移行しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済は、各種政策の実行や雇用・所得環境の改善により、緩やかな景気の回復基調が見られる一方、急激な為替変動や物価上昇などの側面から先行き不透明な状況が続いております。このような状況下において、各企業は更なる付加価値の向上やビジネス機会創出のため、積極的に新たな取り組みを行っており、これらの企業を支援するコンサルティング業界へのニーズは引き続き高い状態が続くと予想されます。

当社は、現在の中期経営計画において「リーディングカンパニーの経営課題を解決する総合的なパートナー」を目指し、2025年2月期から2029年2月期において、売上収益の年率約20%を目安とした継続的な成長を実現し、2029年2月期における売上収益：2,500億円、EBITDAマージン：30～40%を達成することを目標としております。

この目標に向けて、当第3四半期連結累計期間においては優秀な人材の採用・育成、コアクライアント戦略の推進、クライアントの経営課題を多面的に解決するサービスの強化を実施してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上収益は前年同期に比べ23.3%の増収、EBITDAは前年同期に比べ17.8%の増益、EBITDAマージンは計画の範囲内である35.2%となりました。

なお、当社は、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

IFRSに準拠した業績

(単位：百万円)

回次	2024年2月期 第3四半期累計期間	2025年2月期 第3四半期連結累計期間	増減率 (%)
会計期間	自 2023年3月1日 至 2023年11月30日	自 2024年3月1日 至 2024年11月30日	
売上収益	67,717	83,525	23.3
売上原価	31,113	39,832	28.0
売上総利益	36,604	43,693	19.4
売上総利益率(%)	54.1%	52.3%	—
販売費及び一般管理費	12,411	14,949	20.4
EBITDA	24,977	29,418	17.8
EBITDAマージン(%)	36.9%	35.2%	—
営業利益	24,194	28,747	18.8
税引前四半期利益	24,153	28,688	18.8
四半期利益	17,596	21,200	20.5

(注) 百万円未満は四捨五入して記載しております。

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

IFRSに準拠した当第3四半期連結累計期間末における財政状態の状況は以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間末における資産は、111,721百万円となり、前事業年度末に比べ11,838百万円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物が11,815百万円、使用権資産等の増加により有形固定資産が232百万円増加したことによります。負債は、27,073百万円となり、前事業年度末に比べ1,317百万円増加しました。これは主に、その他の流動負債が4,972百万円増加し、その他の金融負債が261百万円、未払法人所得税が2,496百万円、借入金が784百万円減少したことによります。資本は、84,648百万円となり、前事業年度末に比べ10,521百万円増加しました。これは主に、自己株式が2,740百万円、利益剰余金が13,575百万円増加したことによります。

② キャッシュ・フローの分析

IFRSに準拠した当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ11,815百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には57,593百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、25,822百万円（前年同期は17,680百万円の収入）となりました。主な増加は、税引前四半期利益28,688百万円、減価償却費及び償却費1,886百万円、その他の流動負債の増加額4,949百万円、主な減少は、法人所得税の支払額9,988百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、478百万円（前年同期は188百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出824百万円、敷金の差入による支出387百万円、敷金の回収による収入943百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、13,529百万円（前年同期は10,628百万円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出788百万円、リース負債の返済による支出1,549百万円、自己株式の取得による支出3,608百万円、配当金の支払額7,584百万円によるものであります。

（参考情報）

当社は、投資家が会計基準の差異にとらわれることなく、当社の業績評価を行い、当社の企業価値についての純粋な成長を把握するうえで有用な情報を提供することを目的として、EBITDAを経営成績に関する参考指標としております。なお、当該EBITDA及び算出方法は以下のとおりであります。

IFRSに基づくEBITDA：

営業利益＋減価償却費及び償却費（使用権資産に係る減価償却費を除く。）±その他調整

（単位：百万円）

回次	2024年2月期 第3四半期累計期間	2025年2月期 第3四半期連結累計期間
会計期間	自 2023年3月1日 至 2023年11月30日	自 2024年3月1日 至 2024年11月30日
IFRSによる要約四半期連結財務諸表における営業利益	24,194	28,747
調整額：		
+減価償却費及び償却費 （使用権資産に係る減価償却費を除く。）(注) 2	551	431
±その他調整(注) 2、3	232	240
調整額小計	783	671
IFRSに基づくEBITDA	24,977	29,418

- (注) 1. 百万円未満は四捨五入して記載しております。
 2. 使用権資産に係る減価償却費については「+減価償却費及び償却費」から除いて「±その他調整」に含めております。
 3. 「±その他調整」は、IFRS固有の会計処理等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは当第3四半期連結会計期間より連結決算に移行しておりますが、2024年4月12日の「2024年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想の見通しから変更ございません。そのため、2025年2月期の連結業績予想につきましては、従前の個別業績予想と同一の数値を記載のうえ、親会社の所有者に帰属する当期利益を追加で開示しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年2月29日) －単体－	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日) －連結－
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	45,778	57,593
売上債権及びその他の債権	16,068	16,860
棚卸資産	669	528
その他の金融資産	793	—
その他の流動資産	703	338
流動資産合計	64,011	75,319
非流動資産		
有形固定資産	11,949	12,181
のれん	19,187	19,187
無形資産	73	60
その他の金融資産	1,927	2,223
その他の非流動資産	105	73
繰延税金資産	2,631	2,678
非流動資産合計	35,872	36,402
資産合計	99,883	111,721
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,050	1,050
リース負債	1,770	2,072
その他の金融負債	918	657
未払法人所得税	5,713	3,217
引当金	167	—
その他の流動負債	8,222	13,194
流動負債合計	17,840	20,190
非流動負債		
借入金	1,306	522
リース負債	5,529	5,217
引当金	1,081	1,144
非流動負債合計	7,916	6,883
負債合計	25,756	27,073
資本		
資本金	282	282
資本剰余金	8,190	7,876
自己株式	△5,834	△8,574
利益剰余金	71,489	85,064
親会社の所有者に帰属する持分合計	74,127	84,648
資本合計	74,127	84,648
負債及び資本合計	99,883	111,721

（2）要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年11月30日） －単体－	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日） －連結－
売上収益	67,717	83,525
売上原価	31,113	39,832
売上総利益	36,604	43,693
販売費及び一般管理費	12,411	14,949
その他の収益	1	3
営業利益	24,194	28,747
金融費用	41	59
税引前四半期利益	24,153	28,688
法人所得税費用	6,557	7,488
四半期利益	17,596	21,200
四半期利益の帰属		
親会社の所有者 四半期利益	17,596	21,200
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	115.09	139.31
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	—	—

（3）要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年11月30日） －単体－	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日） －連結－
四半期利益	17,596	21,200
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	17,596	21,200
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者 四半期包括利益	17,596	21,200

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	
2023年3月1日時点の残高	282	7,791	△3,114	52,382	57,341
四半期利益	—	—	—	17,596	17,596
その他の包括利益	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	—	17,596	17,596
自己株式の取得	—	—	△3,000	—	△3,000
自己株式の処分	—	△280	280	—	—
配当金	—	—	—	△6,275	△6,275
株式報酬費用	—	522	—	—	522
所有者との取引額合計	—	242	△2,720	△6,275	△8,753
2023年11月30日時点の残高	282	8,033	△5,834	63,703	66,184

当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	
2024年3月1日時点の残高	282	8,190	△5,834	71,489	74,127
四半期利益	—	—	—	21,200	21,200
その他の包括利益	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	—	21,200	21,200
自己株式の取得	—	—	△3,600	—	△3,600
自己株式の処分	—	△860	860	—	—
配当金	—	—	—	△7,621	△7,621
株式報酬費用	—	546	—	—	546
連結範囲の変動	—	—	—	△4	△4
所有者との取引額合計	—	△314	△2,740	△7,625	△10,679
2024年11月30日時点の残高	282	7,876	△8,574	85,064	84,648

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日) — 単体 —	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日) — 連結 —
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	24,153	28,688
減価償却費及び償却費	1,662	1,886
株式報酬費用	522	546
金融費用	41	59
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△465	△792
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△72	141
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△117	342
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	28	48
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,356	4,949
その他	12	△10
小計	27,120	35,857
利息の支払額	△35	△47
法人所得税の支払額	△9,405	△9,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,680	25,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△140	△824
敷金の差入による支出	—	△387
敷金の回収による収入	5	943
その他	△53	△210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188	△478
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△788	△788
リース負債の返済による支出	△586	△1,549
自己株式の取得による支出	△3,006	△3,608
配当金の支払額	△6,248	△7,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,628	△13,529
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,864	11,815
現金及び現金同等物の期首残高	36,606	45,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,470	57,593

（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社は、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。